



老年病研究所附属病院の理念

1. 地域の人々の健康を守るための、研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護、介護の推進
3. 高齢社会における保健・医療・福祉のネットワーク作り

老年病研究所附属病院の基本方針

1. 質の高い安全な医療の提供
2. 多職種によるチーム医療の実践
3. 職員教育の充実
4. 病院経営の安定
5. 新型コロナウイルス感染対策の徹底

言語聴覚療法部門の紹介

リハビリテーション部
主幹 言語聴覚士 平野 哲

言語聴覚士とは？

言語聴覚士 (Speech Language Hearing Therapist) は、STと略して呼ばれることが多いリハビリ専門職の一つです。私たちが日常生活を送る上で欠かすことのできない、話す・聴くなどの言葉や聞こえの問題、嚥下（飲み込み）障害、高次脳機能障害、そしてそれらの問題や障害を抱えた方を支えるご家族に支援を行う専門職です。

現在、当院では12名のSTがリハビリに関わっています。対象となる疾患は、脳梗塞・脳出血などの脳血管疾患や神経疾患、誤嚥性肺炎など多岐に渡り、急性期・回復期・外来リハビリ・訪問リハビリと、継続したリハビリを実施しています。また退院後の自宅などでの生活支援

も行っています。

言語・高次脳機能障害への取り組み

私たちは日常生活の中で、家族や周りの人との会話やメール、テレビ、読書などを楽しんでいます。これらは言語の機能を使って行われており、特に意識することなく言葉を使いコミュニケーションを行っています。しかし、病気等で言語の機能に不便が生じると、今まで当たり前できていたことができなくなってしまうこともあります。

代表的な言語機能の障害としては、「呂律が回らない、声が出づらい」という症状が現れる「構音障害」や「言葉が出づらい、言われたことが理解できない」といった症状が見られる「失語症」、注意機能や記憶などが障害される「高次脳機能障害」などが挙げられます。いずれの障害もコミュニケーションや、日常生活、仕事などに大きな影響を及ぼすのですが、見た目ではわかりづらく、理解され

次ページへ続く

にくいという特徴があります。身体の麻痺による手足の動きづらは見た目である程度理解することができます。しかし、言語や高次脳機能の障害は見た目ではわかりづらく、「話が通じない人、仕事ができない人」といった誤解を受けることも多い障害なのです。

リハビリでは機能の回復を図るだけではなく、どのようにしたらより良いコミュニケーションを行えるか、豊かな日常生活を送れるのか、ご本人やご家族とともに考えながら、その方の状態に合わせてご本人だけではなく、ご家族の支援も行っています。

嚥下障害への取り組み

健康な毎日を送るためには食事が大切ですが、病気や加齢により嚥下機能（飲み込みの機能）が低下すると、食べたり飲んだりする時にむせて飲み込みづらくなったり、食べ物が肺に入って生じる誤嚥性肺炎を引き起こす原因にもなります。

嚥下機能の評価・リハビリでは医師と連携し、必要に応じて、VF（嚥下造影）やVE（嚥下内視鏡）検査による詳細な検査も実施しています。また、電気刺激療法など新たな治療方法も導入し、日々



嚥下リハビリの電気刺激療法に用いる機器電極を頸部に装着して練習を行います。

のリハビリに应用しています。言語のリハビリと同様に、機能の回復を図るだけではなく、一人一人に合った嚥下方法や食事形態の検討を行い、美味しく安全に食事を摂るための支援を行っています。

言語障害や嚥下障害の支援・啓発活動

群馬県の委託事業として当院のリハビリテーション部が中心となって行っている、前橋地域リハビリテーション広域支援センターの活動を通して、誤嚥性肺炎の予防・食事支援のポイントを紹介する動画の作成や、群馬県の委託事業として群馬県言語聴覚士会が実施している「失語症者向け意思疎通支援者養成研修会」（コミュニケーションや、それに伴う問題を抱える失語症者への支援者を養成する研修会）への協力も行っています。

ST部門では言語障害や嚥下障害があっても豊かな生活を送れるよう、ご本人やご家族の気持ちに寄り添いながら、支援を行っていきたいと考えています。また、医療・介護専門職、ご家族への言語障害や嚥下障害の啓発にも引き続き力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

前橋地域リハビリテーション広域支援センター HPで配信中のリハビリ動画のご紹介



【ST監修 食事支援のポイント】

防ごう！誤嚥性肺炎
口から食べる 食事支援のポイント

動画へのアクセスはこちらから

<http://www.ronenbyo.or.jp/hospital/tiikiriha/video.html>



お知らせ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院側で必要と判断した場合を除き、入院患者さんへの面会は原則禁止としております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

以下のような場合、受付に声かけをお願いします。

- ・入院患者さんが重症・急変・危篤状態で面会をする
- ・ケアマネ・他施設職員・医療業者等が患者状態確認の必要がある
- ・入院時・手術時に医師より病状説明・治療方針等の説明がある
- ・洗濯物の受け渡しを行う（病棟エレベーター前で対応）
- ・転棟時の書類記載等手続きを行う
- ・退院時の退院手続きを行う



来院時は手指消毒・マスク着用の徹底をお願いします。



受診時のお願い



下記のような場合は事前に病院受付までご連絡をお願いします。

- ・息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状がある
- ・発熱や咳など比較的軽いかぜの症状がある
- ・発熱や咳など比較的軽いかぜの症状が何日も続いている



連絡先：027-253-3311 (病院代表)

花名：シラネアオイ 花言葉：優美
撮影者：松原信子様



QR



ID

@577bkixz

LINE 公式アカウント

スマートフォンなどで利用できるアプリケーション「LINE」を利用して、各種ご案内やお知らせなどを直接お届けします。ぜひ「友達追加」をお願いします。

受付時間

午前8:30~11:30まで(初診・土曜日は11:00まで) / 午後1:30~4:00まで

※急患は24時間受付けております

※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診

※歯科口腔外科は第2・第4土曜も診察しています

令和4年4月1日

診療科目	曜日 時間帯	月	火	水	木	金	土
内科	午前	高玉 真光 合田 史	高玉 真光 合田 史 小池 陽子(9:00~)	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 勝山 彰 直田 匡彦	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光(10:30まで) 勝山 彰 合田 史
	午後		小池 陽子(14:00まで)				
禁煙外来	午前			勝山 彰(完全予約制)	勝山 彰(完全予約制)	勝山 彰(完全予約制)	
脳神経内科	午前	岡本 幸市 東海林 幹夫 菅原 隆	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 瓦林 毅 唐澤 将紀	岡本 幸市 池田 将樹	岡 大典(第1.5) 石澤 邦彦(第3)
	午後	石澤 邦彦	岡 大典	山内 洋子(15:30まで)	甘利 雅邦(完全予約制 14:00まで) 菅原 隆 唐澤 将紀	池田 将樹(15:30まで)	
物忘れ外来(脳神経内科)	午後			山口 晴保(完全予約制)			
循環器内科	午前		天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫
循環器内科(不整脈外来)	午前						田村 峻太郎
脳神経外科	午前	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	高玉 真	1診:内藤 功 2診:高玉 真	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	1診:宮本 直子 2診:内藤 功	1診:高玉 真 2診:宮本 直子
整形外科	午前	佐藤 圭司 加藤 良衛	島田 晴彦 柳橋 淳子(第3火曜 9:30まで)	佐藤 圭司 館野 勝彦 正木 博(第11番診察室)	佐藤 圭司(10:30まで) 加藤 良衛	館野 勝彦 島田 晴彦	佐藤 圭司(第1) 島田 晴彦(第1.5) 館野 勝彦(第3.5) 加藤 良衛(第3) 正木 博(第1.3.5 第11番診察室)
	午後	加藤 良衛	正木 博(第3火曜休診)	館野 勝彦 柳橋 淳子	柳橋 淳子	島田 晴彦	
眼科	午前	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤 遠藤 朝美	高玉 篤
	午後		高玉 篤	高玉 篤(隔週)	高玉 篤		
皮膚科	午前	森本 奈緒子	森本 奈緒子		森本 奈緒子	森本 奈緒子	
泌尿器外来	午前	矢嶋 久徳		一ノ瀬 義雄			
	午後	矢嶋 久徳					
漢方外来(内科)	午前				古川 和美		
高血圧外来	午前	中村 哲也	中村 哲也				
糖尿病外来	午前		中村 保子				中村 保子
	午後					中村 保子	
内視鏡	午前			壁谷 建志(再)		乾 正幸(再)	
	午後					乾 正幸(休診 第1.3.5)	
麻酔科	午前	増田 裕一		増田 裕一(10:30まで)		佐藤 美恵	
リハビリテーション科	午後				神宮 俊哉		
腎臓リウマチ内科	午後		今井 陽一(第1.3)				
歯科・口腔外科	午前	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子 伊達 佑生	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之(第1.3.5) 戸谷 麻衣子(第2.4)
	午後	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子		福士 宙之 戸谷 麻衣子 伊達 佑生	福士 宙之	

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311(代表) FAX 027-252-7575(代表)
E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス http://www.ronenbyo.or.jp/

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135